【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年4月23日(2024.4.23)

【公開番号】特開2023-162767(P2023-162767A)
【公開日】令和5年11月9日(2023.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-211
【出願番号】特願2022-73384(P2022-73384)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｇ　1/01(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　1/13(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｇ　1/01　　Ａ
Ｇ０８Ｇ　1/13

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月15日(2024.4.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
走行する道路上に存在する異物を検知する検知装置を備える車両と、前記検知装置の検知結果に基づいて前記車両が走行する道路上に実際に異物が存在するか否かを判定するサーバ装置と、を備える異物検知システムであって、
前記サーバ装置は、前記検知装置による異物の検知結果及び異物の検知を行った位置に関する情報を複数の車両間で比較することにより、異物の検知結果の正当性を評価し、異物の検知結果が正当でないと判定した場合、異物の検知に応じて動作を停止させた、道路に設けられている給電装置を再稼働させることを特徴とする異物検知システム。
【請求項２】
前記サーバ装置は、前記検知装置が前記異物を検知するのに応じて、当該異物を検知した位置付近の道路に設けられた給電装置の動作を停止させることを特徴とする請求項１に記載の異物検知システム。
【請求項３】
前記サーバ装置は、異物の検知結果が正当であると判定した場合、前記給電装置を制御する制御装置に対して異物の除去を指示する情報を送信することを特徴とする請求項１に記載の異物検知システム。
【請求項４】
前記サーバ装置は、異物の検知を行った位置において異物があると判定した車両の台数と異物がないと判定した車両の台数とに基づいて、異物の検知結果の正当性を評価することを特徴とする請求項１に記載の異物検知システム。
【請求項５】
前記サーバ装置は、少数側の判定をした車両に対して検知装置の整備を促す情報を送信することを特徴とする請求項２に記載の異物検知システム。
【請求項６】
前記サーバ装置は、車両周辺の天候及び照度を考慮して異物の検知結果の正当性を評価することを特徴とする請求項１に記載の異物検知システム。
【請求項７】

走行する道路上に存在する異物を検知する検知装置を備え、前記検知装置の検知結果に基づいて車両が走行する道路上に実際に異物が存在するか否かを判定するサーバ装置に前記検知装置による異物の検知結果及び異物の検知を行った位置を通知することを特徴とする車両。

【請求項８】

前記サーバ装置に異物に関する情報を複数の車両間で比較させることを特徴とする請求項７に記載の車両。

【請求項９】

複数の車両からの異物の検知結果を集約し、台数に基づいて異物の検知結果の正当性を評価させることに用いるように、サーバ装置に情報を通知することを特徴とする請求項７に記載の車両。

【請求項１０】

前記サーバ装置による異物の検知結果の集約結果に基づいて、車両の検出装置の整備を促す情報を受信してユーザに報知することを特徴とする請求項９に記載の車両。

【請求項１１】

車両周辺の天候及び照度を考慮して異物の検知結果の正当性をサーバ装置に評価させるために、車両が検出した天候及び照度をサーバ装置に通知することを特徴とする請求項７に記載の車両。